

第14次水道事業経営審議会について

水道局では、水道事業の円滑な経営を図ることを目的に、市長の諮問に応じ、水道事業の経営に関して必要な事項を調査・審議するため、「いわき市水道事業経営審議会」を設置しています。

審議会委員の任期は2年となっており、学識経験者（大学教授等）、水道使用者（水道水を大量に使用している企業等）、各種団体の代表、一般公募の方々に構成されています。

平成24年11月20日、市長から、15名の第14次審議会委員の方に委嘱状を交付するとともに、水道事業経営について意見をいただくため、審議会に対し諮問が行われました。

水道事業においては、東日本大震災を契機として、災害に強い水道システムを構築し、将来にわたり安全でおいしい水を安定的に供給していくことが、これまでも増して強く求められており、今後も健全経営の維持と効率的な事業運営に一層努めていく必要があることから、水道事業経営全般について、2年間にわたり調査・審議をいただき、市長に対し答申をいただく予定となっています。

【審議会委員】（50音順、敬称略）

石山 伯夫	マルト管理本部副本部長
海野 守江	市地域婦人会連絡協議会方部長
大川 信行	東日本国際大学名誉教授（会長）
佐藤 和良	連合福島いわき地区連合会副議長
佐藤 弓子	いわき商工会議所女性会副会長
高橋 孝光	いわき地区商工会連絡協議会理事
初瀬富士美	生涯学習コーディネーター（副会長）
正木 好男	小名浜製錬所常勤顧問副所長
水庭 誠	いわき青年会議所副理事長
緑川美彌子	市消費者団体連絡協議会理事
村田 裕之	公認会計士
矢作すみ枝	前いわき市男女共同参画情報誌Wing編集長
山田 肇	公募
吉田 恭子	公募
好野奈美子	いわき明星大学科学技術学部助教

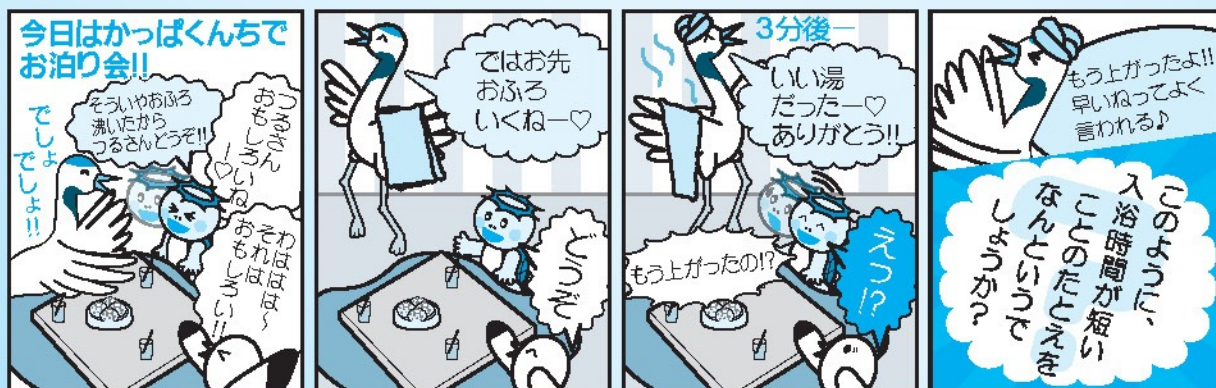


お問い合わせ先 経営企画課
TEL 22-9310

“水のことわざ”考えよう!!

まだまだあるの?! 水に関することわざは、なんと今回で**第6弾!!** 今回はちょっと難しいかもね♪

- Q1** 英語で“Even Homer sometimes nods.”（ホームでさえ時には居眠りをする）ということわざがありますが、これと同じ意味で「水」を使うことわざがあります。それは何でしょうか？
「弘法にも筆の誤り」や「猿も木から落ちる」も同じ意味ですよ。
- Q2** 「山紫水明（さんしすいめい）」ということわざがありますが、その意味は次のどれでしょうか？
a 山は紫にかすみ川は澄みぎっているという、美しい風景のこと
b 記憶の中の故郷は、山は紫にかすみ川もキラキラと輝きいつまでも美しいことから、郷愁のこと
c 山にある木の実と澄んだおいしい水があれば人は生きられることから、質素な生活のこと
- Q3** その土地の環境や組織に馴染めないことを何と言うのでしょうか？
- Q4** 4コマからの出題だよ♪♪



答えは巻末にあります。

市民のみなさまの意見をより気軽に、幅広い世代からお寄せいただくことを目的としたインターネットを利用したモニター事業のことだよ。